

平成26年度施策評価調書

整理番号	11
評価担当課	建設水道部都市整備課

1 施策の名称等

施策名(基本事業)	治山・治水(3-4-12)		
総合計画の位置づけ	基本目標	3	自然と環境にやさしく快適で安全なまちづくり
	主要施策	4	防災対策の充実

2 施策の現状分析と意図

施策の対象、意図(誰、何をどのようにしたいのか)	降雨時や融雪時等の洪水災害から、市民の生命と暮らしを守るための浸水対策の予防保全として、河川の護岸整備・排水機場の維持管理を行っている。
施策の現状(現状どのような手段を講じているか)	<p>【普通河川の維持整備事業】 毎年、河岸の崩落箇所等において護岸整備や伐木、床浚いを実施している。</p> <p>【排水機場維持管理事業】 現在国から委託されている3箇所、市の4箇所の排水機場を外部委託によって維持管理を進めている。</p>
施策の課題	河川整備に対する市民要望も多い中、解消を図るための多額な財源や老朽化した施設の更新による財源の確保が必要である。

3 成果指標の達成状況

成果指標	指標の説明	区分	H23	H24	H25	目標年度(H28年度)
普通河川の維持整備事業	毎年の河川整備延長による達成率	目標値(m)	5,000	6,000	7,000	10,000
		実績値(m)	4,885	5,998	6,787	—
		進捗率	98%	99%	97%	—
排水機場維持管理事業	毎年の排水機場委託費による達成率	目標値	12,034	17,392	13,623	—
		実績値	11,667	14,996	24,727	—
		進捗率	97%	86%	182%	—

4 施策の達成状況

施策の達成度	理由・問題点等	評価基準
A	<p>【普通河川の維持整備事業】 河川整備については予定していた箇所において整備を進めることができた。</p> <p>【排水機場維持管理事業】 近年異常気象に伴い、排水機場の稼働が多くなってきている。維持管理を進める事で緊急に稼働を進める事ができた。</p>	<p>A: 計画目標に向けて順調に推移</p> <p>B: 計画目標に向かって概ね順調</p> <p>C: 計画目標に向けて進捗はやや遅れている</p> <p>D: 計画目標に向け進捗は遅れている</p>

5 今後の方向性

【普通河川の維持整備事業】 整備に対する市民要望が強いため、今後も緊急性を考慮しながら優先順位を決め事業を進める。
【排水機場維持管理事業】 今後も、関係機関などに役割を分担して、取り組みを継続して行く。

6 ワーキンググループの意見等

1次評価のとおり

7 外部評価の意見等

1次評価のとおり

8 2次評価の意見等

1次評価のとおり

9 施策を構成する事務事業

(1)H25年度実施事業

事業番号	事務事業名	事業の概要	H25決算額	1次評価						外部評価	2次評価
				妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度	評価		
1	普通河川の維持整備事業	河岸崩落箇所の護岸整備 河川の床浚い・伐木 河川管理用道路の整備	20,211	a	a	a	a	a	A	A	A
2	排水機場維持管理事業	洪水をコントロールして、流域の浸水被害を軽減し、本川の洪水から周辺流域の人々の生命と暮らしを守るため、支川に溜った水をポンプで強制的に本川へ吐き出すのが排水機場の主な役割です。これにより、流域の浸水被害を軽減する。	24,727	評価なし(維持管理に関する事業)							

(2)その他の取組(既に終了した事業や予算を伴わない取組等(1)以外の取組を記入してください。)

老朽施設の更新工事
